

# 桜の下で鎮魂祈る

高崎・仁叟寺  
観音像設置

東日本大震災の犠牲者を供養するため、高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）の境内に「桜花観音像」が設置され、8日に開眼供養法要が営まれた。

同寺は室町時代に吉井町奥平公田に創建され、1522（大永2）年に現在の場所に移ったと伝えられている。

観音像は高さ約60cmの青銅製。うっすらと笑みをたたえ、本堂裏の幹が5つに分かれた「五輪桜」（コヒガンザクラ）の脇に設置されている。



地元の名所となっている五輪桜は例年、震災のあった3月中旬ごろ見頃を迎える。この時期に参詣する人も多いため、

## 支援

東日本大震災関連

## 暮らし

散っていった尊い命を忘れないでほしい（渡辺住職）と設置した。

法要はサクラの開花の状態に加え、釈迦誕生会の「花祭り」に合わせて行われた。

## 放射性物質

平常の範囲内  
前橋

県が9日午後5時に測定した空気中の放射

9日の県内の空間放射線量		
(モニタリングポスト、マイクロシーベルト/時 午後5時)		
測定地点	測定値	測定高さ
県衛生環境研究所	0.025	21.8%
くまこどもの国	0.047	
富岡市生涯学習センター	0.070	
道の駅 草津運動茶屋公園	0.075	
川場村武道館	0.067	
	0.157	

## 桜の下で鎮魂祈る～高崎・仁叟寺観音像設置～

東日本大震災の犠牲者を供養するため、高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）の境内に「桜花観音像」が設置され、8日に開眼供養法要が営まれた。

同寺は室町時代に吉井町奥平公田に創建され、1522（大永2）年に現在の場所に移ったと伝えられている。

観音像は高さ 60cm の青銅製。うっすらと笑みをたたえ、本堂裏の幹が5つに分かれた「五輪桜」（コヒガンザクラ）の脇に設置されている。

地元の名所となっている五輪桜は例年、3月中旬ごろ見頃を迎える。この時期に参詣する人も多いことから、「震災で散っていった尊い命を忘れないでほしい」（渡辺住職）と設置した。

今年は3月中の冷え込みにより五輪桜はやっと満開に近い状態。ピンク色の花が咲き誇る中で行われた法要で渡辺住職は観音像の前で経を上げた後、集まった檀家らに観音像の名前の由来などを説明した。

法要はサクラの開花の状態に加え、釈迦誕生会の「花祭り」に合わせて行われた。

市町村で1〜5日に採取したキノコ類や野生の山菜を検査。野生のフキノトウは2月以降に6市町で7検体を検査し、同33検が最高だった。「放射性物質の滞留しやすい川岸などに生えた山菜は、検出値が高くなる可能性がある」と指摘している。県は他の山菜も市町村ごとのモニタリングを強化していく方針だ。

### 【喜屋武真之介】

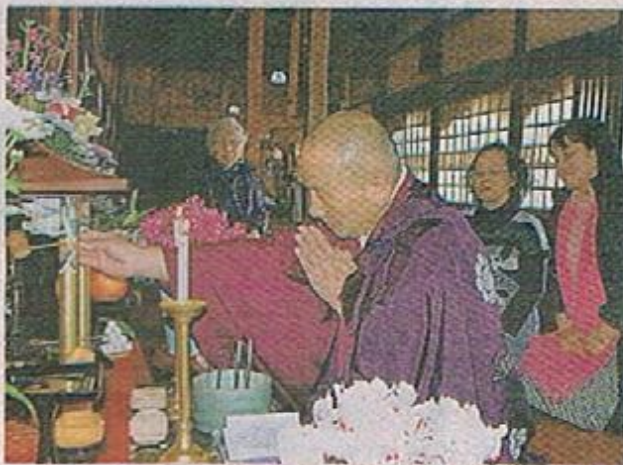
## 誕生仏に甘茶

高崎・仁叟寺

## お釈迦さまの誕生日

とされる8日、県内の寺院でも「花まつり」が行われた。

高崎市吉井町神保の仁叟寺では、本堂に江戸時代初期に描かれたと伝えられる「釈迦誕生図」を掛け、参拝客が渡辺啓司住職の説明を聞きながら花で囲まれた小さな「誕生仏」に甘茶をかけた。



同寺では、境内にある「五輪桜」のそばに東日本大震災の犠牲者を供養する「桜花観音像」を建立。同日午後、7分咲きの桜の下で開眼法要も行われた。

【増田勝彦】

第34回選抜高校野球を埋め尽くし、再試合される心愛ができるよ

## 誕生仏に甘茶 ～高崎・仁叟寺～

お釈迦様の誕生日とされる8日、県内の寺院でも「花まつり」が行われた。

高崎市吉井町神保の仁叟寺では、本堂に江戸時代初期に描かれたと伝えられる「釈迦誕生図」を掛け、参拝客が渡辺啓司住職の説明を聞きながら花で囲まれた小さな「誕生仏」に甘茶をかけた。

同寺では、境内にある「五輪桜」のそばに東日本大震災の犠牲者を供養する「桜花観音像」を建立。同日午後、7分咲きの桜の下で開眼法要も行われた。







